

## バスラ日誌（6月24日）－151号－

- 1 本朝、小瀬隊長以下5名の方々は英軍ヘリ(メルリン)でサマワに帰隊された。0652離陸、8時過ぎには到着されたと聞いている。予定では、C130でタリルへ飛び、スミッティから迎えに来てもらうIRT待機ヘリ(シーキング)で昼頃着く予定であったから、大変ラッキーな変更であった。昨日、昼の空輸調整会議において、スミッティ行きのヘリが丁度あり、余席もあったために[REDACTED]がわざわざ乗るかと聞いてくれたものである。現在その[REDACTED]と撤収時の米軍ヘリ要請の件も調整しているのだが、今のところ可能性ありと言ってくれており、英軍ヘリと米軍ヘリの輸送可能人員の確認を実施してくれている。今回の空輸調整については、要請人数が多いためにかなり難しい調整になると思っているが、[REDACTED]を通じ師団として日本隊空輸支援を多国籍軍団と調整していただくことになっている。実現するかどうかはわからないが、攻撃ヘリによる援護についても調整すると言っている。師団は既に動き出しており、日本隊の計画を確定し、信念をもって実行しなければ調整は困難となる。師団は、全ての作戦努力をムサンナ県の治安権限移譲という一大イベントに集中し、かつ調和させようとしている。そのための調整に使える時間はもうあまりない。 [REDACTED]
- 2 最近、CCN(コンボイ・クレジット・ナンバー)を取得するため、J4(兵站担当部署)へ行く機会が多くなった。 [REDACTED]  
[REDACTED]  
[REDACTED]  
[REDACTED] J4の部屋に行くと、家族みたいに暖かく受け入れてくれる。これから、さらに支援を受ける機会が増えてくると思うが、いつも感謝の気持ちを忘れずに調整していこうと思う。 ( [REDACTED] )
- 3 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。 [REDACTED]